

平成27年12月 豊後大野市教育委員会定例会 議事録

1 開催日時

平成27年12月24日(木曜日) 午前9時28分開会 午前11時49分閉会(141分)

2 開催場所

豊後大野市役所 2階 教育委員会室

3 出席者

教育委員 5名中5名出席

(出席委員) 5名

- 1番委員 佐藤 良治 (委員長)
- 2番委員 藤居 あや
- 3番委員 田島 美智子 (職務代理)
- 4番委員 植田 博美
- 5番委員 久保田 正治 (教育長)

事務局 4名出席

- 教育総務課長 真部 直廣
- 学校教育課長 朝倉 和秀
- 社会教育課長 芦刈 次郎
- 学校給食共同調理場長 川野 文敏

書記

教育総務課 主幹兼総務係長 河面 邦弘

説明のため出席した職員

学校教育課 主幹 深田 裕二

4 付議事項等

- 議案第41号 豊後大野市立学校小規模校活性化TRY事業実施要綱の一部改正について
<学校教育課>
- 議案第42号 平成27年度 豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について
<学校教育課>
- 議案第43号 第3次豊後大野市総合教育計画(平成28年度～平成32年度)について
<全課>

5 会議の概要

○出席者報告

真部教育総務課長	おはようございます。皆さん、お揃いのようにありますので、出席者の報告をさせていただきます。出席委員5名、教育委員会事務局4名の出席であります。それでは、あとは、委員長よろしく申し上げます。
----------	--

1 開 会

佐藤委員長	(時候のあいさつの後) それでは、ただいまから平成27年12月豊後大野市教育委員会定例会を開会いたします。 (午前9時28分開会)
-------	--

2 前回会議録の承認

佐藤委員長	最初に 会議規則第6条第1項第2号の規定に基づき、11月27日開催の11月定例会の議事録の承認を求めます。議事録につきましては、事前に送付され、委員各位もご覧のことと思います。つきましては事務局からの説明を省略し承認手続を行います。議事録について質問等を受けたいと思います。何かございますか。
全委員	(「ありません」の声)
佐藤委員長	よろしいでしょうか。ないようですので、11月定例会の議事録を承認することに異議ありませんか。
全委員	(「異議なし」の声)
佐藤委員長	異議なしと認め、承認します。

3 議事録署名委員の指名

佐藤委員長	続いて、会議規則第17条第2項の規定に基づき 本会議の議事録署名委員の指名を行います。4番 植田 博美 委員を指名します。 よろしくをお願いします。
植田委員	はい(了承)

4 会期の決定

佐藤委員長	次に、会期の決定であります。付議事項等を勘案いたしまして、本日一日限りとしたいと思います。異議ありませんか。
全委員	(「異議なし」の声)
佐藤委員長	異議なしと認め、本日一日限りと決定します。 本日の付議事項は、3件です。よろしくをお願いします。

5 諸報告

(1)教育長報告

佐藤委員長	諸報告に入ります。はじめに、教育長報告を求めます。 教育長をお願いします。
-------	--

久保田教育長	<p>(平成27年12月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)</p> <p><主な報告内容></p> <p>①戦没者合同追悼式(11月20日)…三重第一小6年生が参加、生徒代表(三重第一小、三重中)が平和へのメッセージ</p> <p>②市長ふれあいミーティング(大野小、千歳小、東小、三重中、清川中、緒方中、千歳中、犬飼小)</p> <p>③連携型小中一貫教育について…清川町、朝地町、三重町で着実に前進した発表会があったこと。</p> <p>④豚肉贈呈式…4社から豚肉200kgの寄贈があったこと、1月27日、全国学校給食週間に給食提供すること</p> <p>⑤地元高校(三重総合高校)との連携について</p> <p>⑥教職員人事異動基本方針について(当日配付した資料により説明)</p> <p>⑦第65回社会を明るくする運動作文コンテストで三重第一小6年生が日本BBS連盟会長賞を受賞したこと</p> <p>⑧いじめゼロ子どもサミット全国大会代表に三重第一小児童5名が参加すること</p> <p>⑨12月19日のおおいたジオ「うつくしフォーラム」で菅尾小学校の発表があったこと</p>
佐藤委員長	教育長報告が終わりました。委員さん方から何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。
全委員	(声なし)
佐藤委員長	よろしいでしょうか。
全委員	〔「はい」の声〕

(2)各課報告

佐藤委員長	<p>意見、質問等がないようですので、各課報告に移ります。各課の主要な報告を順次、簡潔にお願いします。はじめに、教育総務課長 お願いします。</p>
	<p>(真部教育総務課長が平成27年12月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)</p>
佐藤委員長	<p>次 学校給食共同調理場長 お願いします。</p> <p>(川野学校給食共同調理場長が平成27年12月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)</p>

佐藤委員長	次 学校教育課長 お願いします。 (朝倉学校教育課長が平成27年12月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)
佐藤委員長	続きまして 社会教育課長 お願いします。 (芦刈社会教育課長が平成27年12月豊後大野市教育委員会定例会資料により報告をする)
佐藤委員長	以上で各課報告が終わりました。ただいまの各課報告について、ご意見、ご質問がありましたら、お願いします。
全委員	(声なし)
佐藤委員長	1つ、よろしいでしょうか、韓国の方のソウルの高校の野球合宿は、以前もあったんですか。今回初めてですか。
芦刈社会教育課長	韓国の方は、今回初めてです。県の紹介です。
佐藤委員長	今まで、ちょっと色々あって韓国との交流も、昨年あたりは途絶えていたんですが、その辺が変わってきたみたいですね。
芦刈社会教育課長	はい、そうですね。
佐藤委員長	皆さん、他にはございませんか。
全委員	(「はい」の声)

6 付議事項等

○議事案件

議案第41号 豊後大野市立学校小規模校活性化TRY事業実施要綱の一部改正について<学校教育課>

佐藤委員長	よろしいでしょうか、他にはないようですので、次に移ります。付議事項、議事案件 議案第41号の審議に入ります。教育長の提案、学校教育課長の説明を求めます。お願いします。 (久保田教育長の提案の後、朝倉学校教育課長が、平成27年12月豊後大野市教育委員会定例会資料により説明) <提案理由> 小規模活性化TRY事業の対象者に、三重第一小学校の通学区域と定められてい
-------	---

る児童で新田小学校への就学を希望するもの及び保護者を追加したいので、この案を提出するものである。

佐藤委員長

ただいま、学校教育課長から説明がありましたが、この件について、ご意見、ご質問がありましたら、お願いします。

全委員

(声なし)

佐藤委員長

よろしいでしょうか。

植田委員

1つだけ、お願いします。実際に新田小に行きたいというか、希望はあるんですか。

朝倉学校教育課長

これからです。わかりません。

植田委員

あるから、こうされたというわけじゃないんですね。

朝倉学校教育課長

将来を見据えて、今のうちから徐々にPRしようかな、ということです。本当のところは、今回はあまり進められない事情があるんですね、三重第一小の入学者が今回少ないんです、今回極端に。だから、一年生に限ったわけじゃないんですが、少しずつ知ってもらおうというか、その代わりに新田については、さらに特色ある学校づくりをお願いすることになるということですね。

久保田教育長

新田がいいのは、行ったらずっと見てくれるんですね、幼稚園のところ、放課後児童クラブで。それは、他のところにはありません。三重東もそういうのがありますよね、放課後児童クラブが、希望制になるんですが、新田は、ほとんど入ってますよね。だから、そのまま学校が終わったら、そこへ行けると、そういうふうなこともやっています。親にとっては都合がいいと思います。歩いて第一と通学距離があまり変わらない子どももいます。新田の方を希望する人がいれば、いいなあと思います。特に、今二年生が4名しかいません。今度三年生になって、三年生と四年生を合わせても16名になりません。そういう学年も入ると60名を超えていますから、今、課長が申し上げましたように全く予想が出来ないという状況です。

植田委員

はい、わかりました。

佐藤委員長

他にありませんか。

全委員

(声なし)

佐藤委員長	意見、質問等がないようですので、採決に入ります。議案第41号について、委員各位の賛否を求め採決したいと思います。原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
全委員	(異議なしの声)
佐藤委員長	異議なしと認めます。議案第41号 豊後大野市立学校小規模校活性化TRY事業実施要綱の一部改正については 原案のとおり決定します。

議案第42号 平成27年度豊後大野市立学校児童生徒の就学援助の認定審査について<学校教育課>

佐藤委員長	続きまして、議案第42号の審議に入ります。この議案の説明及び審議内容等につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、非公開・秘密会したいと思います。よろしいでしょうか。
全委員	(「異議なし」の声)
佐藤委員長	異議なしと認めます。それでは、教育長、教育総務課長、学校教育課長のみで審議しますので、他の方は退席をお願いします。なお、学校教育課担当職員は臨席を認めます。それでは、ここで一時休憩に入ります。 (午前9時58分休憩) □一時休憩□ ～社会教育課長、学校給食共同調理場長、書記退室～ ～学校教育課担当職員入室～ (午前9時59分開議) (非公開・秘密会)開始 ※審議時は、教育長、教育総務課長、学校教育課長、学校教育課担当職員のみ臨席した。 ※審議結果は、審査対象4名のうち、認定4名であった。 (非公開・秘密会)終了 (午前10時7分休憩) □一時休憩□ ～学校教育課担当職員退室～ ～社会教育課長・書記入室～

議案第43号 第3次豊後大野市総合教育計画(平成28年度～平成32年度)について<全課>

佐藤委員長	(午前10時9分開議) それでは開議します。続いて議案第43号に入ります。教育長の提案、教育総務課の説明を求めます。ちょっと時間がかかると思いますが、よろしくお願ひします。
-------	---

(久保田教育長の提案の後、教育総務課 河面係長が事前配布しておいた「第3次豊後大野市総合教育計画(案)(平成28年度～平成32年度)により説明する)

<提案理由>

これまでの豊後大野市総合教育計画(第2次/平成23年度～平成27年度)が平成27年度で終期を迎えるため、平成28年度から5年間の新たな本市の総合教育計画を定めたいので、教育委員会の承認を求めるものである。

■ 第3次 豊後大野市総合教育計画(平成28年度～平成32年度) ■

～ふるさとを愛し、地域とともにシアワセな未来を拓く、
たくましく、心豊かな豊後大野の人づくり～

はじめに

- 1 計画策定の背景と趣旨
 - 2 計画の法的根拠と位置付け
 - 3 計画の期間
 - 4 計画の構成
 - 5 計画の実施状況の点検・評価と見直し
- <補足資料> 総合計画と総合教育計画

施策体系

- 1 第3次豊後大野市総合教育計画の施策体系①(第2次豊後大野市総合計画の施策体系との関係)
- 2 第3次豊後大野市総合教育計画の施策体系②(主管課(係)と事務事業(細事業))
- 3 第3次豊後大野市総合教育計画の施策体系③(第2次豊後大野市総合教育計画の施策体系との関係)

計画各論

<基本施策> I 協働によるまちづくりの推進

① 協働の仕組みづくりと意識を高揚する

- 1 市民の信頼と期待に応える開かれた教育行政の推進

<参考資料①> 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律
(平成26年法律第76号/平成27年4月1日施行)の概要

<参考資料②> 豊後大野市教育委員会 行政組織図(平成27年4月1日現在)

<基本施策> II 学校教育の充実

① 教育内容を充実する

- 1 教育TRY運動の推進
- 2 生きる力の育成
 - 2-1 知(知性)/確かな学力の育成
 - 2-2 徳(人間性)/豊かな心の育成
 - 2-3 体(健康・体力)/健やかな身体の育成
- 3 特別支援教育の充実
- 4 ふるさと学習の推進と特色ある学校づくり
- 5 生徒指導体制の強化
- 6 時代の変化を見据えた学習環境の整備・充実
- 7 幼稚園教育の充実

- ② 教育体制を充実する
 - 1 地域とともにある学校づくり
 - 1-1 学校・家庭・地域の協働、連携の推進
 - 1-2 学校施設の開放の推進
 - 2 教職員の指導力の向上
 - 3 学校給食の充実と食育の推進 ～次代を担う子どもを育む安全で安心な学校給食～
 - 4 学校(幼稚園)規模・配置の適正化の推進
 - ＜参考資料＞児童生徒数推計表
- ③ 安心安全な教育環境をつくる
 - 1 安心安全な教育環境づくり
 - 1-1 安全で快適な学校(幼稚園)施設・設備の充実
 - 1-2 子どもの安全確保
- ④ 就学環境を充実する
 - 1 円滑な義務教育・幼児教育の実施
 - 1-1 経済的条件が不利な子どもの支援
 - 1-2 地理的条件が不利な子どもの支援
- ⑤ 高等学校を支援する
 - 1 大分県立三重総合高等学校の支援

＜基本施策＞Ⅲ 生涯学習の推進

- ① 生涯学習を推進する
 - 1 生涯学習の推進と社会教育施設の充実
 - 2 次代を担う青少年の健全育成
- ② 公民館機能を充実する
 - 1 公民館機能の充実
- ③ 図書館を整備する
 - 1 図書館サービスの充実と図書館の施設整備

＜基本施策＞Ⅳ スポーツの振興

- ① 生涯スポーツを推進する
 - 1 生涯スポーツの推進
- ② スポーツ施設を整備する
 - 1 スポーツ施設の充実と利用促進
- ③ 競技スポーツを振興する
 - 1 競技スポーツの振興とスポーツ少年団活動の推進

＜基本施策＞Ⅴ 文化財等の保存・継承

- ① 文化財等の保存・継承・活用を推進する
 - 1 地域の文化財・歴史・伝統文化・民俗芸能の保存・継承・活用
 - 2 ジオパーク活動の推進

＜基本施策＞Ⅵ 人権尊重社会の実現

- ① 人権が尊重される地域社会を実現する
 - 1 人権教育の推進
 - 1-1 学校(幼稚園)における人権教育の充実
 - 1-2 地域における人権教育の推進

(午前11時10分説明終了)

佐藤委員長

はい、ありがとうございます。お疲れでございました。ここで、休憩と言いたいところですが、時間も随分たっておりますので、続けてまいりたいと思います。ただいま、教育総務課から説明がありましたが、この件については、今後の教育委員会の基本方針ですので、委員皆さん方から、それぞれご意見、ご質問をうかがいたいと思います。まず、私からです。先月の定例会で、この案件の分を渡されまして、相当ボリュームがありまして、なかなか開く気にはなれなかったのが正直なところで、いよいよ、この会議が始まるということで約一週間程度ぐらい前から、この計画案の方に目を通させていただきました。私の感じたことを述べさせていただきます。この総合教育計画につきましては、全体としては、色々な構成、それから整理、色々なことで整理されておりましたので、たいへん意味のわかりやすい構成になっていたかな、と思います。その中で、特に各ページ、ページ毎、1枚ごとに用語の説明が随時、そのページ毎に記入されていて非常にわかりやすかったと思います。本来なら、いろいろな資料につきましては、大体最後の方に用語解説というようなことがあって、またそこにページをめくっていかないといけないということがありますが、各ページにそれを書いているので非常にわかりやすいと思っています。このあと3つぐらい意見を述べさせていただきます。1つずつ話をさせていただきます。

まず、1つは各ページ番号についてであります。目次については、どの資料についても当初からページが付いているんですけど、もし体系毎に、この資料から見るとピンクとか黄色とかが中に、体系毎に、入っておりますが、本来なら第1章とか第2章とか、そういう書き方もあると思うんですが、それはそれで構わないんですけど、出来たらこの体系の中のところにもですね、ページを入れていただいたらどうかな、ということが1つ感じておるんですが、言っていることがどういったことか、わからないかもしれないんですが、他の委員会の方でそのような意見を言って、そこにに入れていただいたこともあります。非常にボリュームがある中身のところであるので、ページ数がかなり、最初の方は、そんなじゃないんですけど、中ほどには相当なものがあるので、そこにページを入れていただければ、1つでも元に返らなくてめくっていけるとと思いますのでお願いします。よろしいでしょうか。

(佐藤委員長より、例を見せてもらう)

河面係長

はい、わかりました。

佐藤委員長

それと2つ目です。(Ⅱ学校教育の充実-⑤)「高等学校を支援する」ということで、この資料の93ページ「三重総合高校の支援」というところで、書かれております。この中の94ページ(「今後の基本方針」)のところなんですが、その中段ぐらいのところ「三重総合高校に入学して大学進学を志す生徒のうち、学業、人物ともに、特に優秀と認められる生徒に対して、特別奨学金を贈与する制度を創設します」ということなんですが、これは18日の議会で可決されておるんで、

「します」を、来年4月からスタートになるんだから「しました」とか、そういう表現ではどうでしょうか、ということです。それと、もう1つは、その下に奨学金の貸付制度の金額や文言を書いているので、この特別奨学金、創設するところの奨学金の額だったり、給付期間等ですね、前回の議事録にあります、特別奨学金の要件だったり、説明のあった特別奨学金の要件だったり、金額とか給付期間とかを説明されておるんで、そこの中に入れていただいたらどうかなあ、とこれを見て思うんですけど、そこに入れられないというのなら状況的にはいいんですけど…。

河面係長

今のところ、運用面については決まっていない点も多いです。大枠は、議会の議決をいただきましたけど、小さい点は、まだ決まっていないのでこうしました。このくらいに留めておけば、今度中間見直し等ありますので、その辺で対応したいと思っています。それと、先ほど言われた「します」というのは、すべて表現を「しました」ではなく「します」形で統一しています。進行形でとらえているつもりなので、「しました」だと過去形になりますので、今後も、こういうことをしますという形で記載しているつもりです。

佐藤委員長

可決したから、金額を入れてもいいんじゃないかなと思いましたが言いました。それも、出来たらということと言いました。

河面係長

その件は、検討させて下さい。

佐藤委員長

はい。じゃ、3つ目なんですけど、これが資料として今後5年間残りますので、小さいことなんですけど、数字と文字が抜けているのかな、というところで気がついたところで、まず1つは、29ページ(Ⅱ学校教育の充実-①教育内容を充実する-2. 生きる力の育成-1. 知(知性)／確かな学力の育成の「現状と課題」)の表(全国学力・学習状況調査)なんですけど、平成26年度のところで、この中で本市が一番上に太い線で囲んでいるんですけど、その下の方に全国というところがあるんですけど、その横の数字がですね、今、全国が2.9と書いているんですけど、これは本市を見れば71.7なので、7とか5とかの数字が抜けているのかな、と気が付きました。

河面係長

はい、すいません。訂正しておきます。

佐藤委員長

それと、もう1点なんですけど、109ページ(Ⅳスポーツの振興-①生涯スポーツを推進する-1. 生涯スポーツの推進の「現状と課題」)、これの下の方に表があるんですけど、「市内の統合型地域スポーツクラブ」と書かれているんですけど、「総合型」じゃないかと思うんですけど…。

河面係長

はい、すいません。それも訂正しておきます。

佐藤委員長	大変、小さいことなのですが、ちょっと気が付いたので言いました。
河面係長	いえ、ありがとうございます。
佐藤委員長	以上、3点気がついたので言っておきます。私の方からは以上で終わります。続いて、田島委員、お願いします。
田島委員	はい、資料を読ませていただいて、非常にきめ細かく取り決めをされているので、何も言うことはないんですが、2点ほどお願いします。まず、54ページ(Ⅱ学校教育の充実-①教育内容を充実する-5.生徒指導体制の強化の「今後の基本方針」)の【4】(情報モラルの育成を図ります)の③(児童生徒と家庭への啓発)に「フィルタリングなどの適切な利用に関する保護者への啓発を行う…」というところで、「子どもと、どんな時に使う、何のために使うなど、使うための家庭でのルールを作らせるよう徹底します」とあるんですが、子どもたちを守るためにも早急に実施していただきたいな、と思います。あと70ページ(Ⅱ学校教育の充実-②教育内容を充実する-2.教職員の指導力の向上の「今後の基本方針」)の【5】(教職員が、教育活動に専念できる環境づくりに努めます)の「ストレス診断」というところで、忙しいことにより自分がどれほど疲れているか自覚がなかなか出来ないと思いますし、早めに気付くためにも、このようなストレス診断などを実施することがとても大切だと思われま。先生方にご配慮をお願いしたいと思しました。以上です。
佐藤委員長	特に、今の件について、回答か何かは…。
久保田教育長	わかりました。
佐藤委員長	はい、ありがとうございました。続きまして、植田委員、お願いします。
植田委員	お疲れ様でした。大変、微に入り細に入り、非常に細かく書かれているなあ、これを見れば、すぐに豊後大野市の教育というのがわかるなあ、と思いました。私も3ページ(はじめに-3)の「計画の期間」のところ、第2次豊後大野市総合計画となっているんですが…。
河面係長	これは、市の方の長期総合計画のことを書いています。総合教育計画の方は第3次となります。
植田委員	はい、わかりました。これはよいです。それと資料に関しては、もう別に申し上げるようなことはないように私は思いますが、今ちょっと黒くして線を引いてありますよね、これは注釈というか、そういうものが入っているところになっているんですけども、実際に出来上がったものには色が付くとかはないんでしょうか。これはどうなるのですか。

河面係長	今から印刷をする予定なんですけど、予算の関係等ありますので、表紙、裏表紙はカラーを考えていますが、中は白黒で行きたいと考えています。
植田委員	はい、わかりました。ちょっと大変かなあ、と思ったもので。それと、今、田島さんが言われたように、私も、これはあくまで計画書でありますので、こうしたい、こうしますっていう形なんですけど、やはりストレス診断をします、とか書かれてありますが、いざストレス診断をした、問題があった、じゃ先生をちょっとお休みさせてあげた方がいいかなってなったときに、後の代替の先生がいないとか、そういうふうなことのないような、やはり、ただ計画を理想的なことで作り上げるんじゃないかな、それには今こういう対処法を準備していますとか、その時はこういうふうにしますというふうなものを、しっかりとこちら側が持っているということが大事なのではないかなということを感じました。もう、こと細かく書いていたので、私はこれを見て大変勉強になりましたので、すばらしいな、と感じました。以上です。
久保田教育長	ストレス診断は、既にもうやっています。で、100%していないというのが実状です。100%になっていない、何かいろいろ事情があると思うんですけどね。それをまず100%にまずやると、それからそれに異常があれば、産業医といって担当のお医者さんがいますので、その人との面談というか、そういうことをするようにしています。
植田委員	そういうものがあれば安心です。
久保田教育長	きちんと言うんだけど、なかなか実施が100%になっていません。一生懸命、100%を目指して呼び掛けていきます。
植田委員	はい、わかりました。以上です。
佐藤委員長	はい、ありがとうございました。それでは最後に、藤居委員、お願いします。
藤居委員	私も、これを読み進めて、読み始めて、本当に皆さんおっしゃっているように、細かく気にして子育てをさせていただけるような環境を作っていただいているんだなあ、というふうに思いました。学校訪問をさせていただいたりとか、いろいろ今までの会に参加させていただいたことを、改めてこれによく理解させていただくことが出来ました。これを読んでいるときに、形ができていてもダメだし、地域が、状況が揃っていてもダメだし、やはり親も任せないで自分たちがやらなければいけないことをやらないといけないんだなあ、ということを感じました。給食費の未納の件とか、感性を磨くとか、虫歯予防とかですね、そういうものもやはり親がやらないといけないことだと思うんです。そういうことを100%に出来ないということが、どこかに問題があるんだなあ、ということを感じましたので、これからもお願いしたいと、頑張らせていただきますのでお願いしたいと思います。

1つ、教えていただきたいんですが、75ページ(Ⅱ学校教育の充実-②教育体制を整備する-4.学校(幼稚園)規模・配置の適正化の推進の「現状と課題」)で文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」のところなんですが、今、豊後大野市が小中連携でされているので、おそらく地域に学校を残すという意味合いでしていると思うんですが、これからいくと人数が、小学校が6学級以下になったり、中学校が3学級以下になったりすると統廃合を検討する必要があるというふうにあるんですが、これはどういうふうに捉えたらいいんですか。

(計画案記載事項)

○ 文部科学省は、平成27年1月に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引 ～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」を策定しました。

- 学校規模の適正化として、クラス替えができるかどうかを判断基準に小学校で6学級以下、中学校で3学級以下の学校については、速やかに統廃合の適否を検討する必要があるとしたこと
- 学校の適正配置として、従来の通学距離についての小学校で4km以内、中学校で6km以内という基準は引き続き妥当としつつ、スクールバスの導入などで交通手段が確保できる場合には、概ね1時間以内を目安とするという基準を加えたこと

などが主なポイントです。

また、学校統合の意義と学校の適正規模については、

- 学校規模を重視するあまり無理な学校統合を行い、地域住民との間に紛争を生じたり、通学上著しい困難を招いたりすることは避けなければならないこと
- 総合的に判断した場合、なお小規模校として存置して充実する方が好ましい場合もあることに留意すること
- 通学距離及び通学時間の児童生徒の心身に与える影響、児童生徒の安全や学校の教育活動への影響などを十分検討し、無理のないよう配慮すること
- 学校の持つ地域的意義なども考えて、十分に地域住民の理解と協力を得て行うよう努めること

などを併せて示しました。

久保田教育長

はい、これはですね、この文科省は、これまで人数が減れば統合ということを進めてきました。それが、それだけでは、なかなかやれないというふうな状況に気付いたんだろうと思うんですが、この中身は適正規模、適正配置を進めなさいと一方ではいいながら、実状に応じて、それができない場合には、小さい規模で、適正規模になるがゆえに子どもに不影響を被るようなこと、そういうことを出

来るだけでなくすような、そういう努力をなさないと、で、豊後大野市としては、それを、規模が小さいのを小中合わせての一貫教育という便宜というか、方法として進めているところでは、文科省も今進めようとしているのは、やっぱり9年間で見ていくべきだということ、コミュニティスクールということ在全国で義務化するという話まで出ていたんですが、義務化はなくなったみたいですね。しかし、それを進めますと、つまり一緒になって保護者と家庭と学校が一緒になってやりましょう、子育てをしましょうと、そういう方向は豊後大野としては間違っていないと思います。むしろ、先取りした形で始めていると思います。

藤居委員

地域に学校がなくなるのは、皆さん寂しいことだと思います。子どもも歩いて学校へ行けるとか、なるべくみんなに声を掛けてもらいながら行くということが、すごくいいことだな、と思っているので、はい、お願いします。

久保田教育長

このためには、子どもがどんどん減っていったんじゃ話にならないわけで、やっぱりそういう努力を市の方にも、お願いしなくてはならないと思っています。

河面係長

今、教育長から説明があったんですが、上の2つは、文科省が数字として示したものです。現在のうちのスタンスとしては、下の4つで、いま教育長が言いましたように考えています。

藤居委員

はい、ありがとうございました。

佐藤委員長

はい、ありがとうございました。それでは、最後に再度聞き漏れていたこと等ありましたらお願いします。

全委員

(声なし)

佐藤委員長

よろしいでしょうか。

久保田教育長

私から1つよろしいでしょうか。今、皆さんからのお話にありましたように、これ5年に1回つくるわけで、この方針が5年実践できるかどうかということが、私たちに課せられた課題だと思っていますが、非常によくできた内容だな、と思っています。本当にご苦労に感謝しています。実践できるように頑張りたいと思います。

佐藤委員長

はい、ここで、ちょっと私の方から発言をさせていただきたいですが、今までの分は別として、今回の特別奨学金制度についてです。

(ここで、本題とは離れたが、12月定例市議会で議決された豊後大野市教育振興特別奨学金条例について意見交換)

佐藤委員長	他にはないでしょうか。
全委員	(声なし)
佐藤委員長	意見、質問等がないようですので、採決に入ります。議案第43号について、委員各位の賛否を求め採決したいと思います。原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
全委員	(異議なしの声)
佐藤委員長	異議なしと認めます。議案第43号 第3次豊後大野市総合教育計画(平成28年度～平成32年度)については、原案のとおり決定します。それでは、事務局より今後のスケジュールについて説明して下さい。 (河面係長が平成27年12月豊後大野市教育委員会定例会資料により今後のスケジュールを説明する)

7 その他

佐藤委員長	続いて、その他に入ります。委員さん方から何かありましたら、お願いします。
全委員	(「ありません」の声)
佐藤委員長	委員さん方からは何もないようです。事務局から何かありますか。
朝倉学校教育課長	私の方から2つ連絡をさせていただきます。1つは、行事のお知らせですが、2月9日に特色ある学校づくりの実践報告会、今年度で4回目になりますけども、それを今回1日でやりたいと今計画しています。午前8時50分から午後4時20分までの長丁場になりますけども、都合がつく時間帯で結構です。参加をお願いしたいと思います。改めて、文書を差し上げます。2月9日になります。それから、もう1つは、卒業式関係の日程をお知らせしておきます。1月の定例会でまた学校を決めたいと思います。考えておいて下さい。中学校が3月4日金曜日になります。小学校は3月23日水曜日、幼稚園が3月17日木曜日になりますので、予定を入れておいて下さい。以上です。
佐藤委員長	ほかにありませんか。
事務局一同	(「ありません」)

8 連絡調整

○1月定例会の日程調整について

佐藤委員長	それでは、連絡調整に入ります。1月定例会の日程等について、教育総務課長、提案をお願いします。
真部教育総務課長	はい、それでは、提案させていただきます。次回の1月定例会を1月22日 金曜日 午前9時30分から開催したいと考えています。ご協議をお願いします。
佐藤委員長	ただいま、教育総務課長より1月定例会を 1月22日 金曜日 午前9時30分から開催したい、という提案がありましたが、皆さんのご都合はいかがでしょうか。 (各委員と調整→提案どおりで決定)
佐藤委員長	それでは、次回 1月定例会を1月22日 金曜日 午前9時30分から開催しますので、よろしくをお願いします。そのほか、何かありますか。
全委員・事務局一同	(「ありません」の声)

9 閉会

佐藤委員長	はい、それでは、ないようですので、これもちまして、本日の日程は全て終了しました。平成27年12月 豊後大野市教育委員会定例会を閉会します。 長時間、大変お疲れ様でございました。 (午前11時49分閉会)
-------	---